

農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名 : 農の安心・安全 まほろば丹後王国プラン
- 2 整備計画年度 : 平成22年度～平成24年度（3年間）
- 3 事後評価年度 : 平成25年度

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	本計画の実施地区は大半の地区が平成23年度に地域自主戦略交付金に移行したため、これらに関連事業に位置づけし、事後評価を一体的に行うこととします。
	・農地整備事業（経営体育成型） 森本地区 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を次期計画で実施予定。
	・農業体質強化基盤整備促進事業 森本地区 平成24年度に完了しました。
	・農地整備事業（農地整備事業における実施計画） 女布地区 平成24年度に完了しました。
	・農地防災事業（用排水施設整備工事） 大山地区 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を他の事業で実施予定。
	・農地防災事業（農村災害対策整備事業）京丹後地区 平成24年度に完了しました。
	・農地防災事業（特定農業用管水路等特別対策事業） 尾和地区 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を他の事業で実施予定。
	・農業集落排水事業 京丹後地区 平成23年度に完了しました。
	・集落基盤整備事業 佐濃南地区 平成23年度に完了しました。
	・集落基盤整備事業 温江地区 平成23年度に完了しました。
②事業効果の発現状況	・農地整備事業（経営体育成型） 森本地区 計画期間内の事業量実施により事業効果が一部発現しました。
	・農業体質強化基盤整備促進事業 森本地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・農地整備事業（農地整備事業における実施計画） 女布地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・農地防災事業（用排水施設整備工事） 大山地区 残事業を他の事業で実施し早期に事業効果発現をめざします。
	・農地防災事業（農村災害対策整備事業）京丹後地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・農地防災事業（特定農業用管水路等特別対策事業） 尾和地区 残事業を他の事業で実施し早期に事業効果発現をめざします。

	<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水事業 京丹後地区 平成23年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・集落基盤整備事業 佐濃南地区 平成23年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・集落基盤整備事業 温江地区 平成23年度の事業完了により事業効果が発現しました。
③成果目標の目標値の実現状況	<p>① 京丹後市森本地区で13.9haの区画整理を行い、農業生産法人の経営農用地面積を10.0ha増加させる。 【目標値】 区画整理：13.9ha、農業生産法人の経営農用地面積増加：10.0ha 【実現状況】 区画整理：16.5ha、農業生産法人の経営農用地面積増加：14.9ha</p> <p>② 農地整備事業における実施計画策定を1地域で実施する。 【目標値】 実施計画策定地域数：1 【実現状況】 実施計画策定地域数：1</p> <p>③ 頭首工1基を改修することで湛水被害等の災害を未然に防止する。 【目標値】 改修した頭首工：1基 【実現状況】 改修した頭首工：0基 →引き続き他の事業で改修工事の完成による目標の達成に努めます。</p> <p>④ 災害リスク軽減の検証を2地域で実施する。 【目標値】 災害リスク軽減の検証をした地域：3地域 【実現状況】 災害リスク軽減の検証をした地域：1地域</p> <p>⑤ 老朽化しているため池等の整備を行い63haの農地等の湛水被害防止、11集落の農村災害の未然防止を図る。 【目標値】 湛水被害防止：農地63ha、災害の未然防止：11集落 【実現状況】 湛水被害防止：農地63ha、災害の未然防止：11集落</p> <p>⑥ 石綿管使用管路改修を行うことにより21.0haの農地に用水の安定供給を行うことで、農業・農村の維持保全を図る。 【目標値】 用水の安定供給を行った農地：21.0ha 【実現状況】 用水の安定供給を行った農地：10.0ha</p> <p>⑦ 京丹後市内7処理区で集落排水処理施設の最適な整備構想を策定することにより、19集落における農業者等の生活利便性を向上させます。 【目標値】 最適な整備構想を策定：7処理区、生活利便性向上：19集落 【実現状況】 最適な整備構想を策定：7処理区、生活利便性向上：19集落</p> <p>⑧ 2地区で集落基盤整備事業により農業集落排水施設整備を実施することにより、10集落における農業者等の生活利便性を向上させます。 【目標値】 農業集落排水施設整備：2地区、生活利便性向上：10集落 【実現状況】 農業集落排水施設整備：2地区、生活利便性向上：10集落</p>
④今後の方針	<p>整備計画年度を平成25年度～平成27年度（3年間）とする新たな計画を樹立し、今後とも丹後の豊かな自然住環境と調和したほ場整備により、農業生産基盤の機能向上等を図ることとします。</p>